

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)									
ET451003	社会科指導法特論(Special Seminar in Teaching Method of Social Studies)					教科実践									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員									
選択	2	1	大学院教育学研究科	前期		氏名 平田利文 E-mail hirata@oita-u.ac.jp 内線 7545									
授業の概要	学部における社会科指導法(小)や(中), 社会科授業論などにおける学習成果を基礎として, 今日学校において小いている課題のうち, 特に社会科の指導に関する事項について知り, その改善方法について受講生とともに考えていくことをねらいとする。														
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	社会科の指導に関して, 今日学校に生じている課題を理解することができる。														
目標2	社会科の指導に関する課題の改善方法について, 考察することができる。														
目標3															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
授業の内容															
1	社会科の指導に関する課題の調べ方														
2	社会科の指導に関する課題 (社会科ぎらいの現状)														
3	社会科ぎらいの実態に関する実態調査														
4	社会科の指導に関する課題 (全国学力状況調査の結果)														
5	全国学力状況調査からみた社会科授業の改善														
6	社会科の指導に関する課題 (PISA調査の結果分析と社会科)														
7	PISA調査に対応した社会科授業のあり方														
8	社会科の指導に関する課題 (社会科の調べ学習)														
9	調べ学習のあり方														
10	社会科の指導に関する課題 (学習方法の現状)														
11	問題解決学習と系統学習の検討														
12	社会科の指導に関する課題 (学習評価の現状)														
13	評価方法の検討														
14	学校種別の課題														
15	まとめ														
ラック ニテ ンイ グ	A:知識の定着・確認	毎回, 各回の講義の課題について, 討論する時間を設定する。			工夫 その 他の	なし									
準備 学修	討論に必要な資料データを収集しておく。														
事後 学修	収集した資料データを整理分析する。														
教科書	小学校, 中学校, 高校の学習指導要領。														
参考書	特に指定しない。その都度資料を配付。														
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10			
	資料データの収集結果	50%													
	プレゼンテーションの出来具合	50%													
注意事項	課題についての事前学習をおこない, 講義での議論へ積極的に参加すること。														
備考	なし														
リンク	URL														

教員の実務 経験	なし
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	なし
実務経験を いかした教 育内容	なし